

款3 民生費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
24,850,423,000 円	24,170,600,243 円	97.3%	59,600,000 円	620,222,757 円

項1 社会福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
6,612,693,000 円	6,359,990,358 円	96.2%	59,600,000 円	193,102,642 円

目1 社会福祉総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,067,812,000 円	3,952,858,822 円	97.2%	59,600,000 円	55,353,178 円
〔一般職給〕	53 人	445,303,382 円	国庫支出金 58,606,644 円 県支出金 856,322 円	
〔再任用職給〕	1 人	3,300,492 円		
〔嘱託職給〕	2 人	7,596,386 円	国庫支出金 1,977,000 円 県支出金 988,000 円	

(保健福祉課)

目的	各種医療費の給付助成			
指標	受給者証交付人数等	目標	24,515 人	実績 23,190 人 (17 年度 22,871 人)
説明	各種医療費助成により経済的支援を行いました。乳幼児医療費助成は、出生人口の増もあり受給資格者数は 140 人増加となりました。心身障害者医療費助成については対象者が増加し受給資格者数 288 人増となりました。一人親家庭等については対象者の増加はあるものの所得制限額の引下げの影響もあり、受給資格者数は 121 人減少しました。不妊治療費助成は、222 人に対して助成を行いました。今後も、これらの医療費の助成については、広報などにより制度の周知に努めます。			

(受給資格者数は年度末)

〔乳幼児医療費助成事業〕	281,159,374 円	(県支出金 142,213,000 円)
受給資格者数 10,490 人 (17 年度 10,350 人)		
〔心身障害者医療費助成事業〕	614,236,673 円	(県支出金 278,502,000 円)
受給資格者数 6,928 人 (17 年度 6,640 人)		
〔一人親家庭等医療費助成事業〕	116,519,841 円	(県支出金 59,597,000 円)
受給資格者数 5,550 人 (17 年度 5,671 人)		
〔福祉医療証明書料経費〕	49,133,000 円	(県支出金 24,436,000 円)
〔不妊治療費〕	17,553,900 円	
受給者数 222 人 (17 年度 210 人)		

目的	市社会福祉協議会活動支援			
指標	ボランティアコーディネート人 数	目標	180 人	実績 188 人 (17 年度 211 人)
説明	地域福祉の推進を図るため、市社会福祉協議会ではボランティア、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会連合会、在宅介護支援センターなどと連携を図りながら、地域の福祉力を高めるための活動を行っています。各方面からのボランティアの要請に対し市社協が紹介し、その活動をした人数であるボランティアコーディネイト人を指標にその活動を支援しました。 団塊の世代による有償ボランティアの検討など、多角的な人的活用を視野に入れながら、今後もボランティア活動等が活発に展開されるよう市社会福祉協議会と連携を図りながら地域の福祉力の向上に努めます。			

〔社会福祉協議会運営費補助金〕	135,277,690 円
・社会福祉協議会運営費	119,422,627 円
・市民啓発事業費	1,648,000 円
・ふれあいのまちづくり事業費	6,574,063 円
・ボランティアのまちづくり事業費	2,151,000 円
・振興基金補填事業費	5,482,000 円
〔権利擁護事業費補助金〕	315,500 円
〔社会福祉事業振興基金交付金〕	118,000 円 (その他特財 118,000 円)
〔民生委員児童委員協議会連合会補助金〕	25,875,080 円
活動者数 566 人 (17 年度 566 人)	
〔医師会等との連携〕	
・四日市医師会補助金	13,740,000 円
・四日市歯科医師会補助金	4,349,000 円
・四日市薬剤師会補助金	875,000 円

目的	シルバー人材センター活動支援				
指標	会員の就業率	目標	84%	実績	86.8% (17 年度 82.5%)
説明	<p>シルバー人材センターでは、企業訪問活動や一般家庭への宣伝普及に努め、会員の就業率の向上を図り、前年度比 4.3% 増の 86.8% となるとともに、事業費についても前年比 5.5% となりました。</p> <p>市立港保育園の跡地活用である高齢者活用子育て支援事業を継続して展開し、また、新規に取り組んだ指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営も順調に実施されています。今後も、会員の就業機会の確保だけにとどまらず、引き続き地域での清掃奉仕などに継続的に取り組み、市民に親しまれる事業展開を通じて高齢者の社会参加や生きがい対策を支援していきます。</p>				

〔シルバー人材センター運営費補助金〕	17,600,000 円
〔全国シルバー人材センター協会等負担金〕	100,000 円
〔保護司会補助金〕	1,590,000 円
活動者数 108 人 (17 年度 110 人)	
〔更生保護女性の会補助金〕	108,000 円
活動者数 1,677 人 (17 年度 1,891 人)	
〔遺族対策費補助金〕	1,561,000 円
会員数 2,010 人 (17 年度 2,150 人)	
〔四日市傷痍軍人会補助金〕	742,000 円
会員数 135 人 (17 年度 174 人)	
〔三重県原爆被災者の会補助金〕	103,000 円
会員数 76 人 (17 年度 102 人)	

目的	各種手当等の支給				
指標	受給者数等	目標	4,383 人	実績	4,594 人 (17 年度 4,635 人)
説明	各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。今後も、障害者手帳の交付時や転入時に案内を行うなど、制度の周知を図り、適正な支給に努めます。				

(受給資格者数は年度末)

〔特別障害者手当等の支給〕	
・特別障害者手当等運営対策経費	238,860 円
・特別障害者手当等扶助費	118,803,340 円 (国庫支出金 89,099,025 円)
受給者数 510 人 (17 年度 500 人)	
〔重症心身障害者手当の支給〕	
・重症心身障害者手当	98,748,000 円

受給者数 4,038 人 (17年度 4,083 人)

[在日外国人福祉給付金の支給]

・在日外国人福祉給付金 2,890,000 円
受給者数 46 人 (17年度 52 人)

その他経費

[社会福祉一般事業費]	25,981,790 円
[県土地開発公社所有地買戻し事業費]	82,034,342 円
[保健福祉総合システム運営費]	13,345,853 円
[社会福祉事業振興基金積立金]	6,512,787 円 (その他特財 6,512,787 円)
民間社会福祉事業	
(昭和 51 年 3 月設置 18 度末現在高 民間社会福祉事業積立金 398,845,234 円)	
[老人保健医療特別会計繰出金]	1,592,637,000 円
[後期高齢者医療広域連合運営経費分賦金]	6,919,000 円
[一般経費]	4,392,273 円

(障害福祉課)

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の授産施設・小規模作業所数 (身体・知的・精神)	目標	23 施設	実績	21 施設 (17年度 20 施設)
説明	一般企業への就労を促進し、職場への定着を支援する通勤寮や、養護学校卒業後の就労の場、日中活動の場である小規模作業所や通所授産施設等を確保するため、引き続き、社会福祉法人に対し建設費補助(債務負担行為 18 年度分)を行いました。また、心身障害者小規模作業所の大規模改修に対して建設費補助を行いました。18 年 4 月より障害者自立支援法が施行されたため、今後は同法に基づく施設への移行等、施設の整備に努めます。				

[民間社会福祉施設等整備助成事業費]

・心身障害者小規模作業所建設費補助金 12,825,000 円 (県支出金 6,412,000 円)

施設名	実施額	備考
尾上授産所(大規模改修)	12,825,000	

・知的障害者通所授産施設建設費補助金 2,055,710 円

施設名	実施額	備考
かすみヶ浦ブルーミングハウス	984,500	債務負担行為限度額のうち本年度分
わかたけ萩の里	1,071,210	"

・知的障害者通勤寮建設費補助金 920,000 円

施設名	実施額	備考
通勤寮ブルーミング	920,000	債務負担行為限度額のうち本年度分

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内のデイサービス実施施設数 (身体・知的)	目標	36 施設	実績	23 施設 (17年度 34 施設)
説明	視覚障害者の活動拠点である視覚障害者福祉センターの運営費補助を行うとともに、重度障害者の日中活動の場、社会参加の場である通所更生施設やデイサービス施設の建設費補助(債務負担行為 18 年度分)を引き続き行い、施設の整備・充実に努めました。 従来から介護保険指定事業所に委託し実施してきた身体障害者デイサービスは、障害者自立支援法の施行により、同法の基準該当事業所としての指定を進めましたが、20 施設にとどまったため、目標を下回りました。				

[社会福祉協議会運営費補助金]

・視覚障害者福祉センター運営費 2,039,808 円

[民間社会福祉施設等整備助成事業費]

・知的障害者更生施設建設費補助金 975,947 円

施設名	実施額	備考
サクラノ園	975,947	債務負担行為限度額のうち本年度分

・知的障害者デイサービス施設建設費補助金 983,400 円

施設名	実施額	備考
清和デイサービスセンター	983,400	債務負担行為限度額のうち本年度分

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設数 (身体・知的・精神)	目標	6 施設	実績	6 施設 (17年度6施設)
説明	知的障害者入所更生施設や身体障害者療護施設の建設費、老朽化施設の大規模改修費の補助(債務負担行為18年度分)を引き続き行い、生活の場の整備や施設の生活環境改善を支援しました。今後は施設の老朽化にともなう改築等について支援します。				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

・身体障害者療護施設建設費補助金 1,421,684 円

施設名	実施額	備考
エビノ園(大規模改修)	1,421,684	債務負担行為限度額のうち本年度分

・知的障害者更生施設建設費補助金 6,044,847 円

施設名	実施額	備考
清和苑	2,750,000	債務負担行為限度額のうち本年度分
聖母の家(増築分)	907,900	"
垂坂山ブルーミングハウス	2,386,947	"

目的	障害者施策の総合的・計画的推進				
指標	会議開催回数(障害者施策推進協議会、精神障害者連絡調整会議)	目標	5回	実績	4回 (17年度3回)
説明	第2次四日市市障害者計画に基づき、啓発、保健医療、教育、生活環境、雇用就労、生活支援等の障害者施策を推進するため、関係機関や障害者団体等による障害者施策推進協議会を開催しました。障害者自立支援法の定める障害福祉計画の策定に際し、意見をいただく場として活用することができました。今後も障害者施策の進捗状況を把握し、障害者の地域生活支援を推進します。				

〔四日市市障害者施策推進協議会経費〕 254,881 円

委員報償金、手話通訳謝礼

〔障害者サービス調整事業費〕 30,000 円

その他経費

〔システム開発費〕	61,617,150 円	〔国庫支出金 3,000,000 円〕
障害者自立支援法にかかるシステム改修費		〔県支出金 6,063,000 円〕
〔障害者介護給付審査会費〕	6,754,955 円	〔国庫支出金 3,290,000 円〕
〔高額障害福祉サービス費〕	315,270 円	〔国庫支出金 157,635 円〕
		〔県支出金 78,817 円〕
〔社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金〕	1,265,834 円	〔県支出金 949,000 円〕
〔各種障害者大会経費補助金〕	300,000 円	
第52回身体障害者福祉大会補助金		
〔支援費制度事務費〕	979,965 円	
〔負担金〕市町保健師協議会会費	15,512 円	
〔社会福祉一般経費〕	5,131,752 円	

(介護・高齢福祉課)

[民間社会福祉施設等整備助成事業費] 132,213,059 円
 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設(老人保健施設)、デイサービスセンター、軽費老人ホーム等の建設費補助を債務負担行為に基づき行いました。

・特別養護老人ホーム建設費補助金 52,526,698 円

施設名	実施額	備考
小山田特別養護老人ホーム(増築)	2,694,700	債務負担行為限度額のうち本年度分
特別養護老人ホームヴィラ四日市	3,224,894	"
特別養護老人ホーム陽光苑(増築)	1,549,947	"
特別養護老人ホーム英水苑	4,145,157	"
特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑	4,814,000	"
特別養護老人ホームヴィラ四日市(増築)	1,768,000	"
小山田特別養護老人ホーム(大規模修繕)	971,000	"
特別養護老人ホーム南部陽光苑	5,293,000	"
介護総合センターかんざき	5,195,000	"
小山田特別養護老人ホーム(大部屋解消・ショート増築)	2,133,000	"
特別養護老人ホーム英水苑(増築)	928,000	"
特別養護老人ホームうねめの里	980,000	"
特別養護老人ホーム風の路	18,830,000	

・老人デイサービス施設建設費補助金 16,140,000 円

施設名	実施額	備考
四郷デイサービスセンター	1,091,000	債務負担行為限度額のうち本年度分
Y M C A デイサービスセンター	1,276,000	"
よっかいち諧朋苑デイサービスセンター	994,000	"
みなとデイサービスセンター	1,148,000	"
富田浜デイサービスセンター	969,000	"
南部陽光苑デイサービスセンター	961,000	"
ハピネスやさとデイサービスセンター	941,000	"
川島デイサービスセンター	951,000	"
うねめの里デイサービスセンター	972,000	"
くぬぎの木デイサービスセンター	979,000	"
日永英水苑デイサービスセンター	988,000	"
かんざきデイサービスセンター	934,000	"
富洲原デイサービスセンター	994,000	"
聖十字保々デイサービスセンター	1,025,000	"
しおはまデイサービスセンター	939,000	"
天力須賀デイサービスセンター	978,000	"

・老人保健施設建設費補助金 8,106,848 円

施設名	実施額	備考
-----	-----	----

小山田老人保健施設	3,831,850	債務負担行為限度額のうち本年度分
老人保健施設みえ川村老健	1,919,736	"
老人保健施設ちゅうぶ	1,315,789	"
富田浜老人保健施設	1,039,473	"

・軽費老人ホーム建設費補助金 9,549,683 円

施設名	実施額	備考
小山田ケアハウス	1,950,631	債務負担行為限度額のうち本年度分
ケアハウス常磐	3,564,052	"
グリーンライフ英水苑	4,035,000	"

・老人福祉施設建設費補助金 33,450,157 円

施設名	実施額	備考
老人福祉施設ユートピアハウス	33,450,157	債務負担行為限度額のうち本年度分

〔社会福祉協議会運営費補助金〕 12,439,673 円

・西南総合福祉センター運営費 12,439,673 円

その他経費

・一般経費 714,220 円

(児童福祉課)

〔社会福祉振興費〕 624,933 円
 ・母子福祉協力員活動助成費 192,000 円
 ・母子家庭自立支援給付金事業 432,933 円 (国庫支出金 324,000 円)
 〔一般経費〕 2,068,832 円
 ・一般経費(児童福祉課)
 〔社会福祉事業振興基金積立金〕 9,059 円 (その他特財 9,059 円)
 ・障害児福祉事業
 (本年度末現在高 障害児福祉事業積立金 13,755,064 円)

(保護課)

〔行旅病人同死亡人取扱扶助費〕 1 件 196,320 円 (県支出金 196,320 円)
 〔法外扶助費〕 3,990 件 23,196,958 円
 ・夏季見舞金 1,788 件 16,501,000 円
 ・歳末見舞金 1,794 件 4,392,500 円
 ・小中高校入学支度金 98 件 1,806,000 円
 ・就職支度金 5 件 99,820 円
 ・中 1 夏服購入費 32 件 255,155 円
 ・行旅人措置費用 272 件 134,990 円
 ・宿泊費 1 件 7,493 円
 〔国民生活基礎調査等事業費〕 243,163 円 (県支出金 243,163 円)

目2 身体障害者福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額

848,697,000 円	783,609,034 円	92.3%	0 円	65,087,966 円
---------------	---------------	-------	-----	--------------

目的	理解と交流の促進				
指標	参加者数 (障害者大会、ふれあい農園)	目標	1,000 人	実績	1,007 人 (17 年度 990 人)
説明	障害者団体による実行委員会や運営委員会で協議を重ね、障害に対する正しい理解と認識を深めるための交流・啓発活動を行いました。ふれあい農園の収穫祭は、障害者団体等の取組みとして定着しており、障害者団体間の連携を強め協働で事業を推進します。				

[ふれあい農園運営費]

収穫祭	参加 407 人	1,338,140 円
[障害者福祉推進事業費]		430,000 円
・障害者大会	参加 600 人	

目的	雇用・就労の促進（社会参加）				
指標	市内の授産施設・小規模作業所数 (身体)	目標	1 施設	実績	1 施設 (17 年度 1 施設)
説明	身障害者通所授産施設あさけワークスでは、18 年度から指定管理者制度を導入し、授産活動を通じて社会生活能力を高め、自立や社会参加の促進を図っています。事業者の協力を得て、就労への経験を積む取組みとして、事業所での授産活動（施設外授産）を実施するとともに、重度重複障害者を受入れるなど、ニーズに応える施設運営を行いました。				

[あさけワークス管理運営費]	50,265,000 円	国庫支出金 12,174,768 円
社会福祉協議会へ指定管理者委託	通所者数 15 人	県支出金 3,325,090 円
		その他特財 1,576,934 円

[福祉の店運営費補助金]

延べ開店日数 636 日、売上点数 11,009 点 売上金額 4,518,617 円

目的	社会参加活動の促進支援				
指標	リフト付タクシー運行事業利用者数	目標	1,350 人	実績	1,485 人 (17 年度 1,311 人)
説明	視覚障害者の外出を支援するガイドヘルパー派遣事業、重度身体障害者の移動手段を確保するリフト付タクシー運行事業、コミュニケーション手段を確保する手話通訳者派遣事業等、障害者の社会参加活動を促進するための施策を実施しました。				

[福祉環境整備事業費]

994,000 円

交通施設バリアフリー化施設整備補助金（近鉄内部線四日市駅）

[ガイドヘルパー派遣事業費]	4,094,110 円	国庫支出金 2,419,964 円
派遣対象者数 54 人 派遣時間 3,650 時間		県支出金 1,209,483 円 その他特財 464,663 円

[手話通訳者派遣事業費]	4,289,180 円	国庫支出金 2,119,000 円
派遣依頼件数 638 件 派遣延べ人数 1,027 人		県支出金 1,060,000 円

[重度障害者タクシー料金助成事業扶助費]	63,244,460 円	国庫支出金 14,718,000 円
初乗り運賃相当額の乗車券を年 72 枚交付 延べ 100,637 枚		県支出金 7,359,000 円

[リフト付タクシー運行事業補助金]	8,300,000 円	国庫支出金 4,150,000 円
利用者数 6,257 人 運行回数 3,466 回		県支出金 2,075,000 円

リフトタクシーを運行するフットワークエクスプレス株へ運行経費を補助

[自動車燃料費用助成事業扶助費]	15,460,891 円	国庫支出金 3,726,000 円
延べ 6,659 件		県支出金 1,863,000 円

[自動車改造給付費]	1,221,475 円	国庫支出金 611,000 円
1 件当たり 100,000 円限度 15 件分		県支出金 305,000 円

[自動車運転免許取得費給付費]	600,000 円	国庫支出金 300,000 円
-----------------	-----------	-----------------

1件当たり 100,000 円限度 6 件分

県支出身 150,000 円

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内のデイサービス実施施設数 (身体)	目標	35 施設	実績	22 施設 (17年度 33施設)
説明	<p>障害者福祉センターにおいて機能訓練、創作的活動、社会適応訓練等の事業を実施するとともに、介護保険通所介護事業所を活用（相互利用）し、身体障害者の社会参加の場の整備充実に努めました。</p> <p>従来から介護保険指定事業所に委託し実施してきた身体障害者デイサービスは、障害者自立支援法の施行により、同法の基準該当事業所としての指定を進めましたが、20施設にとどまつたため、目標を下回りました。</p>				

〔障害者福祉センター管理運営委託費〕 社会福祉協議会へ指定管理者委託	39,643,560 円	〔国庫支出金 1,056,987 円 県支出身 528,994 円 その他特財 297,416 円〕
〔障害者介護保険施設等利用事業費〕 療護施設 3か所・6,605回 介護保険通所介護事業所 20か所・2,562回 訪問入浴 740回、訪問給食 8,611回	49,951,574 円	〔国庫支出金 23,016,972 円 県支出身 11,776,811 円〕
〔身体障害者スポーツ振興事業費補助金〕 身体障害者スポ・レク大会補助金	80,000 円	〔国庫支出金 40,000 円 県支出身 20,000 円〕

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	ホームヘルプサービス利用者数 (身体)	目標	120 人	実績	126 人 (17年度 105人)
説明	<p>ホームヘルパーの派遣、福祉電話・緊急通報装置の貸与、福祉機器や日常生活用具の給付等各種施策を実施し、地域における自立生活を支援するほか、情報提供や福祉サービスの利用援助を行う障害者自立生活支援センター「かがやき」の委託運営を行いました。平成18年10月に移動支援事業は地域生活支援事業に位置付けられました。障害者自立支援法の施行により制度改正がありましたが、ホームヘルプサービスの利用量（派遣時間数）は伸びており、今後も充実に努めます。</p>				

〔ホームヘルプサービス事業費〕 派遣時間数 39,693 時間 移動支援 26回	113,381,747 円	〔国庫支出金 56,553,801 円 県支出身 28,344,644 円〕
〔在宅重度身体障害者短期入所事業費〕 利用日数 1,023 日、利用者数 35 人	8,035,260 円	〔国庫支出金 4,017,090 円 県支出身 2,008,044 円〕
〔福祉電話貸与事業費〕 19台分	450,972 円	
〔緊急通報装置貸与事業費〕 4台	113,400 円	
〔福祉機器購入費補助金〕 補助件数 14 件 エアーマット 3 件、点字出版物 5 件、パルスオキシーメータ 5 件、電磁波防護服 1 件	680,610 円	
〔障害者生活支援センター事業費〕 在宅の障害者に在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、社会生活力を高めるための支援等を行う生活支援センター事業を社会福祉法人四日市市社会福祉協議会に委託実施しました。	3,840,066 円	
相談人数 205 人 延べ 412 件		
〔難病患者等居宅生活支援事業費〕 特殊寝台 1 件	111,200 円	（県支出身 83,000 円）
〔日常生活用具給付費〕 給付件数 1,741 件	21,727,235 円	〔国庫支出金 10,846,000 円 県支出身 5,423,000 円〕

ストマ器具、入浴補助用具、特殊寝台、聴覚障害者用通信装置、視覚障害者用拡大読書器等 〔補装具交付・修理費扶助費〕	45,134,237 円	国庫支出金 22,567,119 円	〔〕
交付・修理件数 1,669 件（車いす、補聴器等）	113,878 円	県支出金 2,958,346 円	
〔福祉住宅相談室経費〕	1,046,000 円	国庫支出金 523,000 円	〔〕
〔点字・録音広報委託料〕	159,600 円	県支出金 262,000 円	
〔障害者福祉ホーム運営事業費補助金〕	159,600 円	国庫支出金 79,000 円	〔〕
		県支出金 40,000 円	

目的	生活環境の整備				
指標	住宅改造費補助件数	目標	18 件	実績	15 件 (17 年度 13 件)
説明	在宅の重度肢体障害者に住宅改造費用の一部を補助することにより、浴室・便所の改善、スロープの設置、段差の解消など、住環境の整備を促進しました。今後も、重度障害者の地域生活を支える重要な施策として、実施していきます。平成 17 年度以降目標値を下回っていますが、利用は徐々に伸びており、今後も制度の周知を図り、利用を促進していきます。				

〔在宅重度身体障害者住宅改造費補助金〕 4,622,000 円 (県支出金 1,010,000 円)

目的	雇用・就労の促進（在宅福祉）				
指標	はり・きゅう・マッサージ利用券の使用枚数	目標	13,500 枚	実績	10,716 枚 (17 年度 11,697 枚)
説明	視覚障害者が行うはり・きゅう・マッサージ（三療）利用料金を助成することにより、その就業を支援するとともに、肢体障害者や高齢者の健康維持・増進を図りました。施術者の高齢化等のため利用券の取扱量が減少しており、広報や地区広報を活用して利用の促進を図ります。				

〔はり・きゅう・マッサージ給付事業費補助金〕 10,772,700 円
1 枚当たり 1,000 円補助

目的	保健・医療の充実				
指標	自立支援医療（更生医療）利用者数	目標	145 人	実績	147 人
説明	障害を軽減するための入院・通院治療にかかる医療費給付を行ったほか、交通事故等の脳外傷による高次脳機能障害者に必要な生活訓練指導を行う事業を実施しました。				

〔更生医療給付費〕 19,164,616 円 (国庫支出金 9,566,504 円)
レセプト枚数 275 枚（心臓 117 枚、腎臓 70 枚、その他 88 枚）(県支出金 3,603,586 円)
〔高次脳機能障害者生活支援事業〕 2,160,530 円 (県支出金 1,080,265 円)
利用者 3 名

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設定員数（身体）	目標	160 人	実績	160 人 (17 年度 160 人)
説明	「施設から地域へ」の流れの中においても、障害や介護の状況等によっては入所施設が必要です。療護施設や更生施設、授産施設に約 70 名の方が入所しており、引き続き生活の場を提供し支援に努めました。				

〔更生援護施設事務事業費〕 283,901,611 円 (国庫支出金 141,790,604 円)
(県支出金 28,812,050 円)

通所施設の利用状況

施設名	前年度末入所者数	入所	退所	本年度末入所者数	支援費(円)
三重県身体障害者総合福祉センター通所	1	3		4	2,235,148
小山田苑通所	1	1		0	1,399,535
エビノ園通所	3		2	3	4,473,024
菰野聖十字の家通所	2			0	1,688,402
わだちコンピュータハウス	1		2	1	799,059
第2八野ワーク通所	3	1		4	4,224,429
合計	11	5	4	12	14,819,597

入所施設の利用状況

施設名	前年度末入所者数	入所	退所	本年度末入所者数	支援費(円)
小山田苑	21	2	4	19	74,868,222
エビノ園	28	2	2	28	108,352,953
菰野聖十字の家	9		1	9	37,005,746
三雲カトリックの家	6			6	25,017,510
ケアホーム熊南	1			1	3,780,490
三重県身体障害者総合福祉センター	3		3	0	6,133,619
八野ワーク入所	4	1	2	3	5,369,800
東京都清瀬園	1			1	1,644,508
春日苑	1			1	4,425,927
港ワークキャンパス	2		2	0	2,467,927
合計	76	5	13	68	269,082,014
就労意欲促進給付金					320,284

[進行性筋萎縮症者措置費] 13,691,878 円 [国庫支出金 6,845,350 円
国立療養所鈴鹿病院への措置 4 人 県支出金 3,422,674 円]

目的	障害者のスポーツ活動等の振興				
指標	障害者体育センター利用者数	目標	3,500 人	実績	2,201 人 (17年度 3,184 人)
説明	障害者がスポーツを通じて身体機能の維持・健康の増進を図るとともに、相互の交流と理解を深めるための活動の場として障害者体育センターの管理運営を行いました。障害特性を生かした管理運営を行っていくため、障害当事者が組織する特定非営利活動法人障害者福祉チャレンジド・ネットを指定管理者として委託しました。耐震工事等のため、利用者数は目標値を下回りましたが、今後ともその利用促進に努めます。				

[障害者体育施設管理運営費] 4,485,000 円 (その他特財 36,702 円)

開館日数 252 日、利用日数 185 日

[障害者体育センター施設耐震補強工事] 3,710,700 円 (市債 3,400,000 円)

その他経費

[一般経費] 2,142,571 円

目3 知的障害者福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額

1,128,186,000 円	1,087,881,308 円	96.4%	0 円	40,304,692 円
-----------------	-----------------	-------	-----	--------------

目的	雇用・就労の促進（社会参加）				
指標	市内の授産施設・小規模作業所数 (知的)	目標	14 施設	実績	14 施設 (17 年度 14 施設)
説明	知的障害者通所授産施設共栄作業所の指定管理者委託や心身障害者小規模作業所等への運営費補助・通所費助成を行い、日中活動や就労の場の確保に努めました。新たに、小規模作業所が 1 力所開設しました。				

[共栄作業所管理運営委託費]	63,170,000 円	国庫支出金 23,813,377 円 県支出金 6,225,194 円 その他特財 3,050,987 円
社会福祉協議会へ指定管理者運営委託 定員 37 人 通所者数 延べ 444 人		
[心身障害者小規模作業所運営費補助金]	85,881,000 円	国庫支出金 2,161,000 円 県支出金 27,344,000 円 その他特財 2,590,000 円

施設名	実施額(円)	延べ通所者数	月平均利用者数
みはま作業所	7,018,000	110 人	9 人
オンリーワン	12,678,000	233 人	19 人
生活俱楽部きりん	8,200,000	116 人	10 人
尾上授産所	10,821,000	185 人	15 人
みどりの家日永	11,442,000	185 人	15 人
ケアサロンぬくもり	11,798,000	200 人	17 人
日永福祉作業所	7,383,000	108 人	9 人
メダカ出版所	6,994,000	69 人	6 人
来夢	8,295,000	71 人	6 人
四季の会（鈴鹿市）	968,000	48 人	4 人
ひまわり作業所(朝日町)	284,000	10 人	1 人

[心身障害者小規模授産施設等通所費扶助費]	7,758,131 円
通所費助成件数	584 件

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内のデイサービス実施施設数 (知的)	目標	1 施設	実績	1 施設 (17 年度 1 施設)
説明	知的障害者の日中活動の場として、知的障害者デイサービス施設が 1 施設、重度重複障害者（重症心身障害者）のための通所更生施設が 2 施設あります。障害者自立支援法の施行にともない、従来の知的障害者デイサービス施設は平成 18 年 10 月から、通所更生施設についても移行準備を進めました。重度障害者の地域生活を支えるため、今後も施設運営の充実や支援に努めます。				

[知的障害者デイサービス事業費]	10,503,872 円	国庫支出金 5,251,131 円 県支出金 2,625,565 円
清和デイサービスセンター 利用者数 36 人		
[重度知的障害者通所更生施設運営費補助金]	39,387,000 円	(県支出金 2,023,000 円)
サクラノ園に対する運営費助成 定員 30 人 通所者数 延べ 360 人		
[たんぽぽ管理運営委託費]	97,378,000 円	国庫支出金 25,525,329 円 県支出金 6,689,324 円 その他特財 4,760,494 円
社会福祉協議会へ指定管理者委託 定員 35 人 通所者数 延べ 420 人		

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	ホームヘルプサービス利用者数 (知的・児童)	目標	85 人	実績	108 人 (17 年度 82 人)

説明	障害者自立支援法の制度改正があり、移動支援がこれまでのホームヘルプサービス事業から、地域生活支援事業に位置付けられました。利用の増加に対応できるよう障害者担当ヘルパーの養成を行い、サービス提供量と質の向上を図りました。また、知的障害者短期入所事業（ショートステイ）等の施設による福祉サービスの利用促進に努め、地域の自立生活支援を行いました。
----	--

〔ホームヘルプサービス事業費〕	22,509,229 円	〔国庫支出金 10,982,236 円 県支出金 5,502,560 円〕
派遣時間数 6,440 時間		
移動支援 155 回		
障害者担当ヘルパー養成講座の開催		
〔知的障害者短期入所事業費〕	15,531,879 円	〔国庫支出金 7,765,602 円 県支出金 4,191,801 円〕
わかたけ萩の里、清和苑、垂坂山ブルーミングハウスほか		
利用日数 2,110 日、利用者数 47 人		
日中一時支援 延べ 302 日		

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム等利用者数	目標	40 人	実績	37 人 (17 年度 37 人)
説明	グループホーム・ケアホームは、知的障害者が地域で自立し安定した生活を営むことができる場です。「施設から地域へ」を実現するため、事業所に働きかけ、グループホーム・ケアホームの整備に努めています。				

〔地域生活援助事業費〕	32,900,814 円	〔国庫支出金 16,153,654 円 県支出金 8,668,828 円〕
グループホーム・ケアホーム 19 力所 37 人		
共同生活介護等支援事業費補助金 利用者数 32 人		
〔生活ホーム運営委託費〕	3,892,000 円	(県支出金 1,272,000 円)
富田ハウス 5 人		

目的	雇用・就労の促進（在宅福祉）				
指標	職親利用者数	目標	2 人	実績	2 人 (17 年度 2 人)
説明	知的障害者の一般就労を支援するため、職親に委託して就労に必要な技能の修得及び生活指導を行いました。				

〔職親委託事業費〕	720,000 円	〔国庫支出金 360,000 円 県支出金 180,000 円〕
-----------	-----------	-------------------------------------

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設定員数（知的）	目標	160 人	実績	160 人 (17 年度 160 人)
説明	「施設から地域へ」を目指してグループホーム・ケアホームの整備等が進められていますが、入所者の障害や介護の状況等によっては、入所施設（更生施設）が必要です。既存施設の老朽化等の課題にも対応しながら生活の場を確保します。				

〔更生援護施設事務事業費〕	708,169,221 円	〔国庫支出金 354,039,432 円 県支出金 73,023,420 円〕
---------------	---------------	--

通所施設の利用状況

施設名	17 年度末入所者数	入所	退所	18 年度末入所者数	支援費（円）
清和ワークキャンパス	24		2	22	35,994,038

バンブーハウス	8		1	8	12,053,429
かすみヶ浦ブルーミング ハウス	23	2	2	23	38,433,627
わかたけ萩の里	26	5	3	28	44,747,731
ワークセンターひのき	9			9	19,503,139
サクラノ園	29	3	1	31	46,163,208
わかたけ笹川の家	5		5	0	1,249,190
グリーンランド	12			12	18,216,777
すずかぜ	8	2		10	13,896,005
愛光園ひかりのさとファーム	1			1	1,782,362
フェア・ワークス下野	8			8	15,247,400
らふかっと	12		2	10	19,046,808
名張育成園ういす	0	1		1	1,670,347
合 計	165	13	15	163	268,004,061

入所施設の利用状況

施 設 名	17 年度末 入所者数	入所	退所	18 年度末 入所者数	支援費 (円)
和順寮	11			11	32,702,646
成峯寮	10			10	26,130,858
津長谷山学園	4			4	10,614,498
和順学園	5			5	14,746,228
あさけ学園	12			12	33,975,825
済美寮	2			2	4,572,173
長谷山寮	9			9	23,711,429
まもり苑	2			2	5,037,790
聖母の家	24	2		26	64,655,643
彦根学園	2			2	4,862,720
しらさぎ園	4			4	12,227,257
三重県いなば園すきのき寮	4			4	11,936,720
〃 かしのき寮	6			6	23,798,967
〃 もみのき寮	2			2	6,322,630
名古屋市希望荘	1			1	2,418,839
奈良県立大淀授産所	1			1	3,484,119
向陽園	1			1	2,446,030
垂坂山ブルーミングハウス	13	3		16	42,728,801
緑の丘	3			3	7,604,708
くわのみ	3			3	9,480,160
清和苑	22			22	63,962,407
れんげの里	3			3	9,424,420
風の丘	1			1	3,443,216
ルーベンハイム志摩	1			1	2,785,976
通勤寮ブルーミング	9			9	9,941,381
通勤寮のぞみ荘	1	1		2	1,512,943
いつきの里	1			1	2,951,750
桃朋園	0	1		1	184,368
合 計	157	8	1	164	437,664,502
措置医療費					2,412,288

その他経費

〔一般経費〕 80,162 円

目 4 精神障害者福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
72,528,000 円	65,418,121 円	90.2%	0 円	7,109,879 円

目的	雇用・就労の促進（社会参加）			
指標	市内の授産施設・小規模作業所数 (精神)	目標	5 施設	実績 6 施設 (17 年度 5 施設)
説明	精神障害者の地域生活を支援するため、授産施設や小規模作業所等の運営や通所費を助成しました。18 年 4 月より障害者自立支援法が施行され、今後同法に基づく施設への移行等、支援に努めます。			

[精神障害者小規模作業所運営費補助金] 25,194,993 円 [国庫支出金 674,000 円
県支出金 9,063,000 円]

施設名	実施額(円)	延べ通所者数	月平均利用者数
コミュニティハウス・オレゴン	8,145,000	151 人	13 人
わかば共同作業所	11,327,000	270 人	23 人
ゆったりクラブ	5,134,000	103 人	9 人
菰野フェアワーカス(菰野町)	422,000	5 人	1 人
ワールーム桑友(桑名市)	166,993	11 人	1 人

[精神障害者小規模通所授産事業運営費補助金] 12,224,000 円 (県支出金 7,500,000 円)

みのり工房 延べ利用者数 248 人

[精神障害者小規模授産施設等通所費扶助費] 1,657,885 円

通所費助成件数 135 件

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	ホームヘルプサービス利用者数 (精神)	目標	40 人	実績	31 人 (17 年度 37 人)
説明	精神障害者の地域生活を支援するためのホームヘルプサービス等の充実に努めました。また、精神障害者ホームヘルパーフォローアップ講習会を開催するなど、精神障害の理解の促進とサービス提供体制の整備を図りました。今後とも地域生活の実現に向けて、在宅福祉サービス等の充実に努めます。				

[ホームヘルプサービス事業費] 7,548,804 円 [国庫支出金 3,736,456 円
県支出金 1,872,950 円]

派遣時間数 2,375 時間

精神障害者ホームヘルパーフォローアップ講習会の開催

[短期入所事業費] 240,923 円 [国庫支出金 120,461 円
県支出金 60,230 円]

生活訓練施設（スマイルハウス、さんさん） 3 人 利用日数 45 日

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム等利用者数 (精神)	目標	19 人	実績	20 人 (17 年度 17 人)

説明	精神障害者が地域社会の中で自立し安定した生活を営む場であるグループホーム・ケアホームの事業を実施しました。「入院生活から地域生活へ」を実現していくため、グループホーム・ケアホームの開設に向け、障害者福祉施設等に働きかけるなど、その整備充実に取り組みました。
----	--

〔精神障害者地域生活援助事業費〕	16,739,707 円	〔国庫支出金 8,274,429 円 県支出金 4,328,214 円〕
グループホーム・ケアホーム 12 力所	利用者数 20 人	
共同生活介護等支援事業補助金	利用者数 8 人	

その他経費

〔一般経費〕	1,811,809 円
--------	-------------

目5 老人福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
426,510,000 円	402,001,294 円	94.3%	0 円	24,508,706 円

目的	高齢者の自立した生活を支援				
指標	在宅介護支援センター相談件数	目標	24,000 件	実績	23,833 件
説明	ひとり暮らしや高齢者世帯が増加する中、介護を要する状態になっても在宅で自立した生活を継続できるよう、市内 25 力所の在宅介護支援センターに相談業務を委託し、状況に応じて訪問給食事業などの福祉サービスを提供しました。また、介護保険制度改革により高齢者の総合的支援のための中核機関として地域包括支援センターを市内 3 力所に設置し、そのプランチとしての機能を各在宅介護支援センターに付加し、相談機能の充実を図りました。				

〔老人福祉一般事業費〕	75,000 円
・老人ホーム入所判定委員会経費（開催回数 12 回）	75,000 円
〔寝たきり等老人対策事業費〕	115,617,741 円
・日常生活用具給付等事業費	2,340,460 円
延べ給付件数	631 件
・高齢者住宅改造費補助金	3,718,800 円（県支出金 1,554,000 円）
本年度実績	18 件
・在宅介護支援センター事業費	108,078,000 円
本年度末現在	25 力所
・低所得者利用者負担対策事業費	1,480,481 円（県支出金 1,108,000 円）
本年度認定者数	36 人
〔老人福祉施設事務費事業費〕	227,552,107 円（その他特財 43,785,798 円）

養護老人ホームへの措置状況

施設名	前年度未入所者数	入所措置（人）	退所措置（人）	本年度未入所者数	措置費（円）
-----	----------	---------	---------	----------	--------

	(人)			(人)	
寿楽陽光苑	97	19	19	97	179,317,627
みずほ寮	8	0	3	5	12,993,486
翠明院	6	6	1	11	17,095,509
高田慈光院	3	0	0	3	5,802,204
梨の木園	4	0	1	3	10,250,431
桑名市清風園	1	0	0	1	2,092,850
計	119	25	24	120	227,552,107

[社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金]

- 社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金 105,470 円 (県支出金 60,000 円)
本年度認定者数 47 人

目的	社会参加活動の支援				
指標	老人クラブ社会参加活動実施回数	目標	1,100 回	実績	988 回 (17 年度 1,054 回)
説明	地域社会において高齢者の健康増進、相互扶助や社会貢献などの取り組みを行う老人クラブに対して運営補助を行いました。また、子ども達との交流事業など特色のある事業を実施した 27 の老人クラブに対して補助を行いました。その他、市老人クラブ連合会にボランティア活動や子どもへの交通安全指導などの社会参加活動を推進するよう支援しました。登下校時の子どもの見守りなど地域のニーズに即した活動も盛んになりました。				

[老人福祉一般事業費]

- 敬老行事費 (地区敬老行事) 32,701,537 円
- 敬老訪問事業費 29,262,240 円
- 敬老金の支給 (100 歳) 139,297 円
- 3,300,000 円

[いきがい対策事業費]

- 老人社会参加活動育成事業 24,931,726 円
(28 地区老人クラブ、四日市市老人クラブ連合会) 1,676,000 円
- 老人クラブ運営費補助金 (241 クラブ 21,648 人) 14,315,320 円 (県支出金 7,277,000 円)
- 老人憩いの広場整備事業費補助金 916,800 円
- ふれあいいきいきサロン推進事業費 8,023,606 円

その他経費

- 一般経費 1,017,713 円

目 6 国民年金費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不 用 額
9,798,000 円	9,270,342 円	94.6%	0 円	527,658 円

第 1 号被保険者にかかる各種届出の受理等を法定受託事務として実施しました。また、国との協力・連携事務の一環として年金制度の啓発活動を実施しました。

[国民年金事務費] 9,250,342 円 (国庫支出金 9,250,342 円)

[負担金] 20,000 円 (国庫支出金 20,000 円)

資格関係届出書受付 7,792 件

免除申請受付 12,814 件

年金裁定請求等の受付 2,413 件

国民年金の加入状況（本市で事務を行わない第2号被保険者を除く。）

区分	第1号被保険者	第3号被保険者	任意加入被保険者	合計
年度末現在の被保険者数(人)	44,381	31,132	636	76,149

「第1号被保険者」とは、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満で第2号又は第3号被保険者以外の人
 「第2号被保険者」とは、厚生年金保険又は共済組合等の加入者

「第3号被保険者」とは、第2号被保険者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人

「任意加入被保険者」とは、国民年金の適用除外者のうち、本人の希望により加入した人

目7 老人福祉センター費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
59,162,000円	58,951,437円	99.6%	0円	210,563円

目的	介護予防事業の実施				
指標	老人福祉センター利用者数	目標	100,000人	実績	102,751人 (17年度 98,882人)
説明	高齢者の健康で生きがいある生活を支援するため、老人福祉センターを2カ所設置しています。平成18年度から施設の運営を指定管理者（中央老人福祉センターは社会福祉法人四日市市社会福祉協議会、西老人福祉センターは社会福祉法人風薰会）に委託し、サービス改善に努めました。				

[老人福祉センター管理運営費] 58,951,437円

老人福祉センターの利用状況

施設名	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
中央老人福祉センター	297	47,538	160
西老人福祉センター	297	55,213	186
計		102,751	

項2 児童福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
9,021,879,000円	8,909,909,236円	98.8%	0円	111,969,764円

目1 児童福祉総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
6,432,415,000円	6,373,708,347円	99.1%	0円	58,706,653円

[一般職給] 332人 2,395,490,369円
 国庫支出金 10,128,000円
 県支出金 65,328,000円
 その他特財 541,277,720円

[再任用職給] 7人 23,471,318円
 [嘱託職給] 30人 102,339,388円 (県支出金 1,911,000円)

(児童福祉課)

目的	子育て家庭への支援サービスの提供
----	------------------

指標	あそぼう会参加者数	目標	延べ 78,000 人	実績	延べ 72,822 人 (17 年度 69,766 人)
説明	<p>育児の不安やストレスを抱える家庭が増加する中、幼保一本化した旧塩浜幼稚園の跡施設を利用し、単独型の子育て支援センターを設置しました。また、新設のたいすい保育園に保育園併設型の子育て支援センターを設置し、既設の単独型、保育園や医療機関併設型と合わせ計 10 力所の子育て支援センターで、楽しんで子育てできるように相談や情報提供、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行いました。</p> <p>関係機関や地域が未就園児童等の情報を共有し、支援を必要とする家庭に早期に育児支援を行うため「地域子育てネット 0 ~ 6 」会議を開催し、地域の子どもの「見守り」に努めました。</p> <p>子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて保健、医療、福祉、教育、警察、地域等関係機関との「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」を開催するとともに、市民との協働で行う子育て応援フェスタ・セミナーの開催など、虐待防止事業を実施しました。今後も、地域や子育てを支援する団体、関係者との連携を図りながら、子育て家庭に対する支援を進めます。</p> <p>公立保育園の民営化については、平成 19 年度移管予定の河原田、水沢、西浦保育園において移管先法人の保育士を受け入れ、1 年間かけて保育に関する引き継ぎを行うとともに、0 歳児保育に必要な設備等の整備を行いました。今後も平成 20 年度移管予定の高花平、三重保育園を含めた 5 園について、保護者や移管先法人と協議を進め、円滑に保育に関する引継ぎを行います。</p>				

[子育て支援センター管理運営費]	4,155,997 円			
・子育て支援センター管理運営費	2,821,757 円	(県支出金	1,077,000 円)	
・子育て支援センター事業費	1,334,240 円	(県支出金	308,000 円)	
[児童福祉一般事業費]	670,627,639 円			
・家庭児童相談経費	326,662 円			
・児童虐待防止対策事業費	1,377,008 円			
・一般経費	13,261,463 円			
・臨時職員賃金	655,662,506 円			
		国庫支出金	3,774,000 円	
		県支出金	23,376,000 円	
		その他特財	3,982,957 円	
[次世代育成支援行動計画推進事業費]	101,915 円			
[保育所民営化推進事業費]	55,005,850 円			

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	病児保育室利用者数	目標	3.5 人 / 日	実績	3.8 人 / 日 (17 年度 3.5 人 / 日)
説明	病気回復期の児童をあずかることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。				
	利用者数の増加の主な理由は、冬期におけるインフルエンザの流行によるものです。なお、病児保育室の利用定員は、1 日につき 6 人です。				

[病児保育室管理運営費]	14,870,135 円	〔 国庫支出金 3,920,000 円 その他特財 1,469,000 円 〕
----------------	--------------	--

年間実績

開設日数	登録者数	延べ利用者数
269 日	1,296 人	1,031 人

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	相談件数	目標	延べ 1,000 件	実績	延べ 1,125 件 (17 年度 858 件)
説明	母子福祉センターにおいて、母子自立支援員による相談業務や支援を行い、技能習得講				

座を通じて生活の安定と自立を図りました。

[母子福祉センター管理運営費] 4,300,000 円

年間実績

延べ相談件数	1,125 人
技能習得講座延べ受講者数	215 人
サークル延べ活動者数	1,122 人

目的	障害児の療育等の充実				
指標	障害児・保護者訓練指導事業 実施者数	目標	延べ 3,762 人	実績	延べ 3,918 人 (17 年度延べ 3,762 人)
説明	<p>あけぼの学園と健康増進センターにおいて、発達の遅れのある児童とその保護者に対し、心理、言語、理学及び作業等の訓練援助指導を行いました。</p> <p>ボランティア団体が実施する障害児訓練事業に対して助成することにより、障害児の機能強化の推進を図りました。</p> <p>おもちゃ図書館において、障害のある子どもがおもちゃを通して仲良く遊び、ふれあえるきっかけをつくるとともに、心身に障害のある子どもの情緒や生活機能の発達を促しました。</p>				

[心身障害児訓練事業費] 939,309 円

・障害児・保護者訓練指導事業	735,309 円 (その他特財 700,000 円)
・障害児機能強化事業費補助金	204,000 円

障害児・保護者訓練指導事業実績 (実登録者数 555 人)

区分	心理	言語	理学	作業	計
訓練援助別登録者数	362 人	514 人	164 人	282 人	1,322 人
延べ訓練指導実施者数	446 人	1,574 人	793 人	1,105 人	3,918 人

P・T (理学療法) スイミング事業実績(学齢以上)

登録者数 38 人 延べ訓練指導実施者数 107 人

[おもちゃ図書館管理運営費] 1,196,930 円

延べ利用者数 6,385 人

(障害福祉課)

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	日常生活用具・補装具交付数	目標	725 件	実績	728 件 (17 年度 577 件)
説明	<p>児童の在宅生活を支援するため、日常生活用具の給付や補装具の交付・修理を行いました。18 年 10 月から日常生活用具給付事業が地域生活支援事業に位置付けられました。市独自に紙おむつの支給対象者の範囲を拡大するとともに、所得税非課税世帯の無料化を行うなど利用の促進を図りました。今後も必要な日常生活用具や補装具の利用を促進します。</p>				

[日常生活用具給付費] 交付 249 件 4,291,233 円

国庫支出金 2,145,000 円

県支出金 1,072,000 円

[補装具交付・修理費扶助費] 29,702,889 円

国庫支出金 14,851,444 円

補装具交付・修理件数 479 件

県支出金 1,342,400 円

(保健福祉課)

目的	各種手当の支給				
指標	受給者数等	目標	23,700 人	実績	23,219 人 (17 年度 19,094 人)

説明	児童の健全育成や児童の福祉の増進を図ることを目的に、各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。対象が小学校修了前まで拡大されたことから、児童手当の受給者数が4,114人の増となりました。
----	---

(受給資格者数は年度末)

[児童手当の支給]

児童手当 受給者数 20,376人(17年度16,262人) 2,025,880,000円

区分	受給者数	対象児童数	支給額	特定財源
・被用者	5,129人	5,624人	370,055,000円	〔国庫支出金 296,071,500円 県支出金 37,009,250円〕
・非被用者	1,696人	1,869人	124,870,000円	〔国庫支出金 41,836,666円 県支出金 41,836,666円〕
・特例給付	236人	260人	14,520,000円	〔国庫支出金 14,520,000円〕
・小学校修了前被用者	9,719人	18,618人	1,124,430,000円	〔国庫支出金 375,371,667円 県支出金 375,381,667円〕
・小学校修了前非被用者	3,596人	6,499人	392,005,000円	〔国庫支出金 130,641,667円 県支出金 130,786,667円〕

[児童扶養手当の支給]

児童扶養手当 受給資格者数 2,527人(17年度2,525人) 1,029,121,170円
(国庫支出金 344,556,622円)

[重症心身障害児手当の支給]

重症心身障害児手当 受給者数 316人(17年度307人) 7,380,000円

[その他経費]

4,834,205円

目2 保育所費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
402,611,000円	380,279,868円	94.5%	0円	22,331,132円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	公立保育園入園児童数	目標	2,720人(定員)	実績	2,679人(17年度2,769人)
説明	<p>低年齢の児童が増加するなか、保護者が働いていたり、病気などで家庭での保育ができない乳幼児について、保護者が安心して保育園に子どもを預けられるよう努めました。</p> <p>公立保育園の園舎等施設の整備・改修及び適正な維持管理を行ったほか、公私立保育園をはじめとする児童福祉施設に自動体外式除細動器(AED)を配備して保育環境の向上と安全の確保に努めました。</p>				

[非常勤職員報酬]	16,097,730円
・嘱託医師 30人	8,352,810円
・嘱託歯科医師 30人	7,744,920円
[保育所一般事業費]	2,671,725円
[保育所整備事業費]	27,083,506円
・保育所整備事業費	19,124,700円
・保育所仮設園舎整備費	3,412,500円
内部保育園、日永中央保育園、四郷保育園園舎リース料	
・保育所備品整備費	4,546,306円
[保育所管理運営費]	332,970,957円
〔負担金〕	1,455,950円
・日本スポーツ振興センター共済掛け金等	(県支出金 666,000円) (県支出金 150,000円) その他特財 191,922,698円 (その他特財 672,000円)

公立保育園入所状況

保育園名	定員	延べ入所 児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入 所児童数	児童入所率 (%)
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
橋北	120	1,309	236	361	712	109	90.90
富洲原	120	1,578	439	390	749	132	109.58
塩浜西	60	676	165	120	391	56	93.89
四郷	120	1,421	227	267	927	118	98.68
羽津	120	1,447	320	380	747	121	100.49
あがた	90	1,030	205	260	565	86	95.37
大矢知	110	1,418	332	276	810	118	107.42
河原田	90	935	172	194	569	78	86.57
中央	120	1,405	437	352	616	117	97.57
ときわ	170	1,989	428	421	1,140	166	97.50
水沢	60	825	137	112	576	69	114.58
富田	80	1,101	322	217	562	92	114.69
高花平	60	722	134	129	459	60	100.28
海蔵	110	1,513	397	331	785	126	114.62
下野	60	693	184	166	343	58	96.25
内部	140	1,668	271	400	997	139	99.29
磯津	40	506	78	139	289	42	105.42
坂部	60	715	137	186	392	60	99.31
保々	100	1,379	380	294	705	115	114.92
笹川	100	1,086	309	321	456	91	90.50
西浦	60	443	443	0	0	37	61.53
三重	60	823	162	212	449	69	114.31
神前	80	952	273	246	433	79	99.17
日永中央	110	1,362	341	282	739	114	103.18
笹川西	110	1,162	381	204	577	97	88.03
桜台	110	996	187	203	606	83	75.45
下野中央	70	941	197	208	536	78	112.02
八郷西	60	621	175	113	333	52	86.25
くす南	70	831	203	360	268	69	98.93
くす北	60	598	218	380	0	50	83.06
市内 公立計	2,720	32,145	7,890	7,524	16,731	2,679	98.48
広域 2市3町 1村	7園	103	45	27	31	9	
公立計		32,248	7,935	7,551	16,762	2,687	

(参) 公私立保育園総合計

年度	延べ入所 児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入 所児童数
		3歳児未満	3歳児	4歳児以上	
17年度	56,661	15,411	12,685	28,565	4,722
18年度	56,348	15,432	12,950	27,966	4,696

公立保育園延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
中央	10	9	10	6	8	8	10	10	9	10	10	11	9
合計	10	9	10	6	8	8	10	10	9	10	10	11	9

公立保育園一時保育年間利用実績（月別延べ利用児童数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	23	23	29	27	16	11	13	20	35	27	25	13	262
橋 北	100	100	126	123	110	138	145	108	91	84	95	76	1,296
合計	123	123	155	150	126	149	158	128	126	111	120	89	1,558

公立保育園特定保育年間利用実績（月別延べ利用児童数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋 北	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
合計	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23

目3 民間児童福祉施設運営費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,153,630,000 円	2,125,385,723 円	98.7%	0 円	28,244,277 円

（児童福祉課）

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供			
指標	民間保育所入園児童数	目標	1,725 人（定員）	実績 1,855 人 (17年度 1,791 人)
説明	民間保育所の適正な運営がなされるよう指導及び助言を行うとともに、民間保育所の保育内容充実のための各種補助施策を実施しました。			

〔保育所事務費事業費〕

・児童一般分	1,476,632,943 円	国庫支出金 376,888,140 円
		県支出金 188,444,070 円
		その他特財 494,729,109 円

・民間施設加算 96,761,109 円 (県支出金 7,587,000 円)

民間保育所入所状況

保育園名	定員	延べ入所児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入所児童数	児童入所率(%)
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
日永	90	1,319	262	336	721	110	122.13
厚生会	60	778	230	170	378	65	108.06
浜田	90	1,102	288	206	608	92	102.04
ローズ	100	1,246	394	315	537	104	103.83
海山道	120	1,661	564	361	736	138	115.35
塩浜	60	596	112	105	379	50	82.78
愛華	90	1,243	467	272	504	104	115.09
三重愛育	150	2,069	612	503	954	172	114.94
あやめ	60	599	42	132	425	50	83.19
みのり	90	1,176	439	235	502	98	108.89
かわしま	120	1,476	374	322	780	123	102.50
大谷台	110	1,410	374	306	730	118	106.82
フジ	110	1,530	528	300	702	128	115.91
いずみ	100	1,449	423	355	671	121	120.75
あがたが丘	90	1,210	333	310	567	101	112.04
ひよこ	90	1,266	548	257	461	106	117.22
陽光台	75	1,053	300	178	575	88	117.00

たいすい	120	1,079	659	318	102	90	74.93
市内民間計	1,725	22,262	6,949	4,981	10,332	1,855	107.55
くまだ		311	59	96	156	26	
岸田		897	138	208	551	75	
広域6市3町	32園	630	351	114	165	53	
市外民間計		1,838	548	418	872	153	
民間計		24,100	7,497	5,399	11,204	2,008	

[民間保育所振興費]	170,483,800 円
・民間保育所運営費補助金	30,121,100 円
・民間保育所園児健康診断料等補助金	8,312,660 円
・障害児保育事業費補助金	3,670,160 円
・民間保育所乳児保育等事業費補助金	10,716,000 円
・延長保育事業費補助金	85,878,080 円
	(県支出金 936,000 円)
	(県支出金 1,176,000 円)
	〔 国庫支出金 41,586,000 円 〕
	〔 県支出金 618,000 円 〕

民間保育所延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ローズ	10	15	14	15	13	14	15	15	15	13	12	12	14
海山道	8	9	10	9	9	9	9	8	10	7	7	6	8
塩浜	4	4	4	2	2	2	2	4	4	3	3	3	3
愛華	9	11	12	9	9	13	11	12	13	14	14	13	12
三重愛育	3	3	4	5	4	3	4	4	2	2	3	5	4
みのり	4	5	5	4	3	3	3	2	3	3	6	6	4
かわしま	5	5	6	5	4	5	5	5	5	5	6	5	5
大谷台	2	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	3	3
フジ	12	14	13	12	10	12	13	14	14	10	15	12	13
いづみ	8	10	10	10	11	8	8	10	8	10	8	8	9
あがたが丘	4	3	4	4	3	4	4	3	3	3	5	4	4
ひよこ	24	24	23	23	22	22	21	20	22	21	20	18	22
陽光台	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3
たいすい	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合 計	100	113	114	107	100	105	106	107	109	100	109	101	106

・一時保育事業費補助金 9,757,800 円 (県支出金 5,220,000 円)

民間保育所一時保育年間利用実績(月別延べ利用児童数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	120	125	133	125	55	135	147	150	122	135	135	123	1,505
いづみ	63	64	121	99	73	98	134	96	64	112	116	86	1,126
ひよこ	95	104	91	99	106	144	108	133	98	87	95	152	1,312
かわしま	3	20	34	27	21	26	45	36	36	30	37	48	363
たいすい	59	11	19	26	19	5	20	8	7	12	4	5	195
合 計	340	324	398	376	274	408	454	423	327	376	387	414	4,501

・民間保育所特定保育事業費 13,770,000 円 (県支出金 1,260,000 円 その他特財 1,483,100 円)

民間保育所特定保育年間利用実績(月別延べ利用児童数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	22
いづみ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13
ひよこ	0	1	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	27
浜田	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
たいすい	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
合 計	2	3	4	4	5	6	8	8	9	9	8	9	75

- ・家庭支援推進保育事業費補助金 2,442,000 円 (県支出金 1,067,000 円)
- ・民間保育所地域活動事業費補助金 2,611,000 円 (国庫支出金 2,265,000 円)
- ・子育て支援推進保育事業費補助金 2,918,200 円 (県支出金 1,458,000 円)
- ・認可外保育施設職員健康診断料補助金 286,800 円 (県支出金 168,000 円)

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供			
指標	民間保育所新設数	目標	2 力所	実績 2 力所 (17 年度 1 力所)
説明	待機児童の解消を図るとともに、延長保育、乳児保育、一時保育、特定保育等の特別保育の拡充を行うため、民間保育所の改築（みのり保育所）に対し、施設整備補助を行いました。			

〔民間保育所整備事業費〕 142,466,000 円 (国庫支出金 71,233,000 円)

(明許縛越)

〔民間保育所整備事業費〕 138,596,000 円 (国庫支出金 69,298,000 円)

民間保育所（こっこ保育園）の新設に対し、施設整備補助を行いました。

目的	子育て家庭への支援サービスの提供			
指標	民間子育て支援センター 指定施設数	目標	5 施設	実績 5 施設 (17 年度 4 施設)
説明	子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置する民間保育所や医療機関に対して助成することにより、育児等の相談や指導など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。また、緊急保護が必要な母子については母子生活支援施設において、児童については乳児院・児童養護施設において短期入所事業を実施しました。			

〔地域子育て支援センター事業費補助金〕 17,973,000 円

〔子育て支援ショートステイ事業費〕 836,600 円

・菜の花苑 5 人

・エスペランス四日市 10 人

(県支出金 11,982,000 円)

〔国庫支出金 575,000 円〕

〔その他特財 102,450 円〕

目的	経済的安定と自立を図るための支援			
指標	母子生活支援施設入所世帯数	目標	延べ 350 世帯	実績 延べ 215 世帯 (17 年度 延べ 220 世帯)
説明	保護を要する母子の母子生活支援施設入所等により、児童の心身の健全な発達や母子の自立を図りました。			

また、配偶者による暴力を受けていたり、経済的基盤が弱い母子家庭には、母子生活支援施設の活用、さらに母子家庭や寡婦については、母子自立支援員及び母子福祉協力員による相談や就労に必要な環境づくりを行い、安定した生活が確保できるよう努めました。

〔母子生活支援施設事業費〕 46,898,416 円

・菜の花苑他 4 施設 延べ 215 世帯利用

〔国庫支出金 23,914,288 円〕

〔県支出金 11,957,144 円〕

〔その他特財 80,890 円〕

〔第二種助産施設事業費〕 315,161 円

・県立総合医療センター

〔その他特財 72,200 円〕

・ ヤナセクリニック	19,656 円
〔障害児デイサービス事業費〕	
・ 鈴鹿市療育センター	

目的	家庭での生活が困難な児童（乳児を含む）のあずかりと安心した生活の確保				
指標	運営協議会開催回数	目標	3回	実績	3回 (17年度 3回)
説明	平成15年4月に民営化した児童養護施設・乳児院「エスペランス四日市」について、子どもの処遇向上を促進するとともに、円滑な運営を確保するため、施設等整備費及び職員配置等に対する財政面での支援をはじめ、運営協議会への参加など必要な支援を行いました。今後も、引き続き円滑な運営への支援を行います。				

〔民間児童養護施設等支援事業費〕	26,629,422 円
・ エスペランス四日市	

(障害福祉課)

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	短期入所利用日数（児童）	目標	1,200 日	実績	1,278 日 (17年度 1,031 日)
説明	障害者自立支援法の施行により、事業の再編が行われ、短期入所のうち日帰りでの利用が地域生活支援事業の日中一時支援事業に位置付けられました。また、障害児の日中活動支援を整備するため、介護保険施設を利用した児童デイサービスを実施しました。				

〔知的障害児短期入所事業費〕	6,603,539 円	〔 国庫支出金 3,302,100 円 県支出金 2,063,549 円 〕
利用者数 56 人、延べ 854 日（聖母の家、サクラノ園ほか）		
日中一時支援 延べ 424 日		
〔障害児デイサービス(相互利用)事業費〕	1,170,077 円	〔 国庫支出金 453,760 円 県支出金 294,880 円 〕
利用者数 小学生 32 人、中・高生 23 人		
日中一時支援 延べ 58 日		

目4 児童館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,882,000 円	8,103,374 円	91.2%	0 円	778,626 円

目的	児童館活動などを通じた遊びの充実				
指標	児童館利用者数	目標	延べ 44,000 人	実績	延べ 44,325 人 (17年度 42,134 人)
説明	児童の健全育成の場として「あそび」を通した児童の自主的、創造的活動の援助、指導、社会性を養うためのグループ活動の推進を図るとともに、映画会の開催や図書の整備など優良児童文化の提供に努めました。 児童館において「不登校や引きこもりの児童」に対するパソコンを活用した創作活動、踊り等の自己表現活動、卓球等のスポーツ活動といったプログラムを提供するなどの児童健全育成事業を行いました。また、各館ごとの児童館まつりの開催など、地域との交流にも努めました。				

〔施設管理運営費〕	7,144,541 円
〔児童館自主事業費〕	958,833 円

児童館の利用状況

施設名	開館日数	利用者数	1日平均
-----	------	------	------

			利用者数
北部児童館	251	16,090	64
橋北児童館	251	10,309	41
塩浜児童館	250	4,492	18
こどもの家	251	13,434	54
計		44,325	

移動児童館事業

実施回数	実施地区数	参加者数	1回平均参加者数	事前講習
23	14	2,762	120	なし

目5 知的障害児通園施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
16,260,000 円	15,100,798 円	92.9%	0 円	1,159,202 円

目的	障害のある乳幼児の早期療育				
指標	発達指数が伸びた児童の比率	目標	30%	実績	22% (H17年 28%)
説明	あけぼの学園(通園部 定員 50 人)は、就学前の発達に遅れや障害のある児童が保護者とともに通園して保育園・幼稚園の前段階の療育を受ける場であり、児童に対して基本的生活習慣の自立を助長・促進させ、社会適応性を向上させるとともに保護者に対する相談・援助に努めました。平成 18 年度は3歳児での新入児が多く、学園療育期間が 1 年間(通常は 2 年間)と短期間であったため、その療育成果を十分発揮できないまま修了となつた子どもが多かったことが原因と思われます。				

[非常勤職員報酬] 432,000 円
 ・嘱託医師 2 人

[あけぼの学園(通園部)管理運営費] 14,400,198 円
$$\begin{cases} \text{県支出金} & 10,150,000 \text{ 円} \\ \text{その他特財} & 4,000,000 \text{ 円} \end{cases}$$

[一般事業費] 268,600 円

入園状況

性別	本年度末在園児数	年齢別内訳				
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	30	0	5	23	1	1
女	20	0	7	10	2	1
計	50	0	12	33	3	2

目6 児童福祉施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,081,000 円	7,331,126 円	90.7%	0 円	749,874 円

目的	発達の遅れが心配な乳幼児の早期療育				
指標	デイサービスの利用率 (出席率)	目標	75%	実績	72% (17年度74%)
説明	あけぼの学園(療育部 定員1日20人)児童デイサービス事業所として、ことば・身体運動面・生活面など、発達の遅れが心配な乳幼児を対象とした療育を行い、基本的生活習慣の自立を助長・促進させ、社会適応性を向上させるとともに保護者に対して子どもとのかかわり方を学んでもらったり、相談・援助に努めました。乳幼児本人の病気や家族の諸事情で欠席する日もあり、出席率はやや下がりました。今後も子どもの発達特性に応じた療育を行います。年度末利用児 119人。				

[非常勤職員報酬]	216,000円
・嘱託医師 1人	
[あけぼの学園(療育部)管理運営費]	7,115,126円

〔県支出金 2,903,000円
その他特財 3,872,768円〕

入園状況

性別	本年度末在園児数	年齢別内訳					
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	76	4	14	26	26	5	1
女	43	6	12	18	4	3	0
計	119	10	26	44	30	8	1

項3 生活保護費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,924,269,000円	4,906,878,280円	99.6%	円	17,390,720円

目1 生活保護総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
161,569,000円	160,855,948円	99.6%	円	713,052円

[一般職給]	22人	143,345,310円
[非常勤職員報酬]		1,665,600円
・嘱託医師	1人	
[生活保護適正実施推進事業]		6,444,358円 (国庫支出金 6,444,358円)
・臨時職員	4人	5,057,992円
[その他経費]		9,400,680円
・診療報酬支払事務委託料		3,092,939円
・一般経費		6,307,741円

目2 扶助費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額

4,762,700,000 円	4,746,022,332 円	99.6%	0 円	16,677,668 円
-----------------	-----------------	-------	-----	--------------

目的	適正な保護の実施			
指標	生活実態把握調査 件数	目標	11,530 件	実績 10,290 件 (17 年度 11,750 件)
説明	<p>平成 18 年度の生活保護適用状況は、高齢者世帯や母子世帯の増加、雇用情勢の変化などの社会的状況を反映して、開始 312 件、廃止 234 件、保護率 9.1% (17 年度 8.8%)、人数は 2,833 人 (17 年度 2,732 人) となり、被保護者は増加しました。</p> <p>生活問題を抱える被保護世帯に対して、問題状況に応じた適切な指導・援助を行い、適正に生活保護の給付を行うためには、生活実態の的確な把握が必要なことから、自宅訪問調査をはじめとして、様々な側面からの実態調査を実施しました。調査により把握された世帯の問題については、軽減または解決のための指導・支援を行い生活の安定を図りました。</p> <p>平成 17 年度に自立支援プログラムの一環として、就労阻害要因がない（または乏しい）にもかかわらず就職できずにいる被生活保護者への就労支援を行う就労支援事業を実施したところ効果があったため、平成 18 年度も引き続き就労支援事業を行いました。その結果、延べ 150 人の対象者に支援して 98 人が新たに就労を開始するという 17 年度以上の効果があらわれました。</p>			

〔扶助費〕 88,330 人 4,746,022,332 円 (国庫支出金 3,555,234,131 円)
(県支出金 203,494,335 円)

生活保護費内訳

区分	延べ人数	1 月平均	支出額	割合
生活扶助	28,772	2,398	1,450,514,575 円	30.56%
住宅扶助	24,972	2,081	462,986,024 円	9.76%
教育扶助	3,106	259	18,552,963 円	0.39%
介護扶助	3,739	312	87,212,351 円	1.84%
医療扶助	26,436	2,203	2,639,913,885 円	55.62%
出産扶助	3	-	634,668 円	0.01%
生業扶助	745	62	9,820,957 円	0.21%
葬祭扶助	40	-	5,073,814 円	0.11%
施設事務費	517	43	71,313,095 円	1.50%
合計	88,330		4,746,022,332 円	100%

項4 災害救助費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,267,000 円	1,507,369 円	66.5%	0 円	759,631 円

目1 災害救助費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,019,000 円	1,507,369 円	74.7%	0 円	511,631 円

〔災害への支援〕

- ・災害見舞金等 火災（死亡 2 件、全焼被害 8 件、半焼被害 9 件）
1,361,820 円（その他特財 1,361,820 円）
- ・災害救助基金積立金
145,549 円（その他特財 145,549 円）
(昭和 39 年 3 月設置 本年度末現在高 113,641,222 円)

目2 災害救助基金積立準備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
248,000 円	0 円	0.0%	0 円	248,000 円

項5 国民健康保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,323,216,000 円	2,026,216,000 円	87.2%	0 円	297,000,000 円

目1 国民健康保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,323,216,000 円	2,026,216,000 円	87.2%	0 円	297,000,000 円

国民健康保険特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金補助金の一般財源化に基づく繰出金 1,535,834,152 円を含む 2,026,216,000 円の繰出を行いました。

・保険基盤安定繰出金	1,030,531,177 円	(国庫支出金 82,415,358 円) (県支出金 690,483,024 円)
・職員給与費等繰出金	318,309,642 円	
・出産育児一時金等繰出金	100,333,333 円	
・財政安定化支援事業繰出金	86,660,000 円	
・その他一般会計繰出金	490,381,848 円	

項6 介護保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,966,099,000 円	1,966,099,000 円	100.0%	0 円	0 円

目1 介護保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,966,099,000 円	1,966,099,000 円	100.0%	0 円	0 円

介護保険給付費及び事務費について、介護保険特別会計へ繰出を行いました。